

II 河川の取り組み

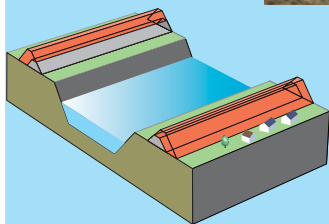
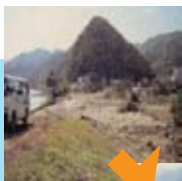
【1】治水対策の考え方

- 洪水時の河川流量を下流に安全に流下させ、洪水被害を防御
- 「氾濫させない対策」に加え、「氾濫しても被害を最小化させる対策」を実施

氾濫させない対策

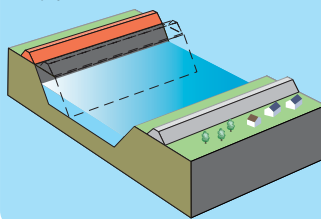
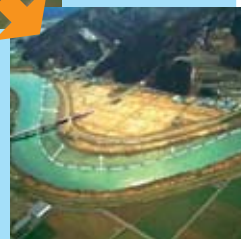
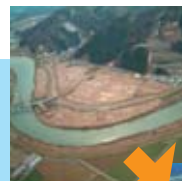
●築堤・高上げ

堤防を造り水の流れる断面を大きくします。



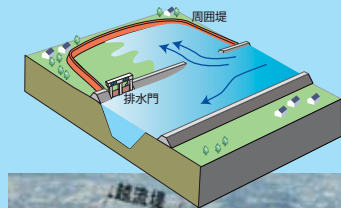
●引堤

川幅を広げることにより河川の水の流れる断面を大きくし、水位を下げます。



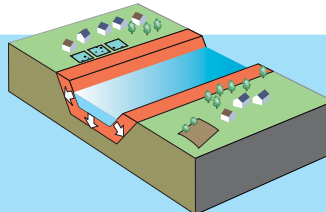
●遊水地

洪水で水が溢れそうになった時、遊水地で洪水を一時貯め、洪水時の河川の水位を下げます。



●河道掘削

河川を掘削して水の流れる断面を大きくして水位を下げます。



氾濫しても被害を最小化させる対策

●二線堤



万一、本堤が決壊した場合に、被害を最小限にとどめる為、堤内地に築造される堤防。

●輪中堤



特定の区域を洪水の氾濫から守る為に、周囲を囲むようにしてつくられた堤防。